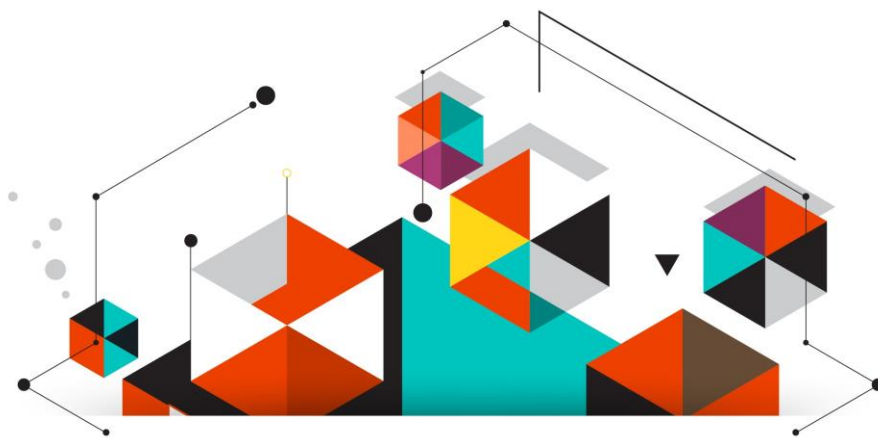


2017年
導入事例



Robotic Process Automation



RPAの活用例 製造業

クライアント:世界的な某メーカー
自動化対象プロセス:仕入れ先の管理

課題

このクライアントは、仕入れ先のマスターデータの管理プロセスに自動化ソリューションを導入しようとしていました。データに対し、複雑な一連の妥当性検証を行うためです。このプロセスで必要になるのは、欧州28か国を含む世界各国の、仕入れ先データの作成、変更、ブロック拡張、重複チェックです。また、IBAN、VAT、郵便振替為替の確認もあります。さらに、米国の場合はUSPSの、豪州の場合はABNの確認も必要です。これまで、このプロセスは、完全に手作業で行われており、エラーが大変発生しやすく、運用コストがかさんでいました。IBANやVATを確認する場合などは、SAPで何度も事前チェックする必要がありました。

UiPathのソリューション

UiPathは、この妥当性検証プロセス全体を自動化しました。ロボットによって、Service Nowのウェブフォームからデータが抽出されるようにし、さらには国別（欧州を含む世界各国別）のルールを基に、IBANやVAT、USPS、ABN、重複データがSAP FIPでチェックされるようにしたのです。

クライアントが得た価値

自動化によって、このプロセスは合理化され、また、効率もアップしました（**ヒューマンエラーおよび手直しに要する時間がゼロになったのです**）。その結果、データ処理上も運用実績上も早期の質的向上につながりました。

